

第26回 1月16日（木）13:00～14:30
生きづらさの正体を描く
～脚本家の視点から～



吉田恵里香氏
脚本家・小説家

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1987年生まれ。神奈川県出身。主な脚本執筆作に2024年度前期連続テレビ小説『虎に翼』、映画『ヒロイン失格』、ドラマ『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』『君の花になる』『生理のおじさんとその娘』などテレビドラマから映画アニメまで数々の作品の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』で第9回ANIME TERNDING AWARDS最優秀脚色賞を受賞。執筆した小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』などがある。

<担当スタッフより>

多くの人が、一度は生きづらさを感じたことがあるのではないのでしょうか？例えば、「女の子なんだからもっとお行儀よくしなさい」「あなたは～だから、きっと～できないよね」などの言葉に縛られて生きてきた、または無意識のうちに縛られているという人もいます。吉田さんは脚本家として、このような人々の生きづらさや社会の理不尽、差別や偏見、家父長制などをエンターテインメントと重ね合わせながら描いていらっしゃいます。今回の講演では、自分自身が感じる生きづらさや、他者が抱える生きづらさに焦点を当てながら、受講生の皆さんとともに、今の社会が抱える問題やその背景について一緒に考えてみたいと思います。